



Custom Micron
Absolute Precision for the Elite Professional



Airbrush User's Guide

エアブラシユーザーズガイド



iwata *studio series*



～ トリガーを引く歓び ～

エアースプレーは、コンプレッサで圧縮した空気によって塗料を霧状に噴霧する道具です。ムラのない吹付けと、トリガー操作による筆や刷毛では得られない極細線・ボカシ・グラデーションなど多彩に表現できます。

表現性豊かなエアースプレーは、カスタムペイント・ホビー・クラフト・ファインアート・ネイルアート・ボディアートなどあらゆる分野で活躍しています。

また特性をよく理解していただく事で、新たな分野への活用も期待が広がっています。アネスト岩田は、今後ともお客様の様々な創造性をサポートしてまいります。

“トリガーを引く歓び”是非お確かめ下さい。

Contents

➤ ごあいさつ	1
➤ Introduction/The Airbrush	2～3
➤ Variation/エアースプレーの種類	4
➤ Choice/エアースプレーの選び方・コンプレッサの選び方	5～6
➤ Ready/作業を始める前に	7～8
➤ Joint/エアースプレー & コンプレッサ	9～10
➤ Set Up/接続方法	11～13
➤ Control/コンプレッサの設定	14
➤ Step/基本操作	15～16
➤ Cleaning/エアースプレーのお手入れ	17～18
➤ Exercises/エアースプレーテクニック(カスタムペイント)	19
➤ Exercises/エアースプレーテクニック(T シャツアート)	20
➤ Exercises/エアースプレーテクニック(ネイルアート)	21
➤ Exercises/エアースプレーテクニック(ボディアート)	22
➤ Q&A/Common Questions	23～24
➤ Try! /Lesson Text	21～22

ご使用前に説明書を必ずお読みいただき十分ご理解のうえ、正しくご使用くださいますようお願い申し上げます。

◎エアブラシとは？

エアー(空気)ブラシ(筆)と言うように、圧縮した空気によって、塗料を霧状に飛ばす道具です。エアブラシは単体で使用できず、コンプレッサやエアーホースなどの機器を組み合わせ合わせて使います。

エアブラシの種類や操作方法・メンテナンス方法などをご紹介します。



◎エアブラシの特長

エアブラシの大きな特徴として、筆では難しいムラのない塗装が簡単にできます。趣味の分野のほかに、自動車の小キズの補修やバイクのなどのカスタムペイントなどに用いられます。

また、距離や吐出量によって極細線やボカシ・グラデーションなど、多彩な表現が出来ます。個人での使用のほかに、染色・マネキンなど工業製品にも使用されています。

1本のエアブラシで水性アクリル・ウレタン・ラッカーなど様々な塗料が使用可能です。

圧縮空気を作り出すコンプレッサは、家庭用電源 100V で使用でき、ホビー／クラフトにぴったりです。



カスタムペイント

バイクや車をグラデーションやオリジナルデザインで豪華に演出してくれます。



ファインアート

エアブラシで陰影や立体感を表現。
鮮やかでリアリティあふれる作品が描けます。



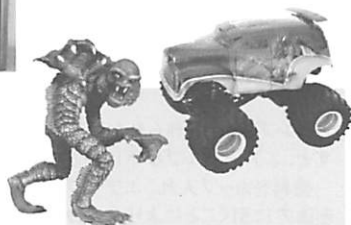
ネイルアート

小さなキャンバスに描く、まさにアート！
エアブラシでネイルアートのバリエーションが広がります。



ボディアート&メイク

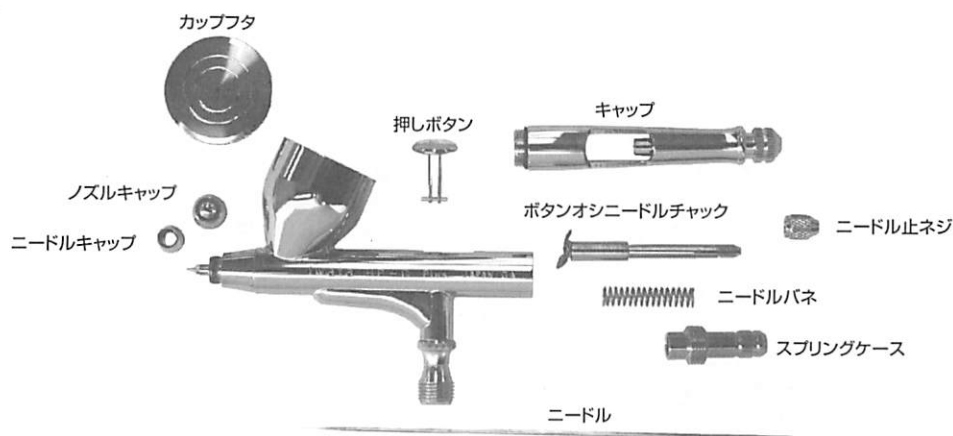
ワンポイントやベースメイクを演出します。
ムラなく自然に仕上がります。



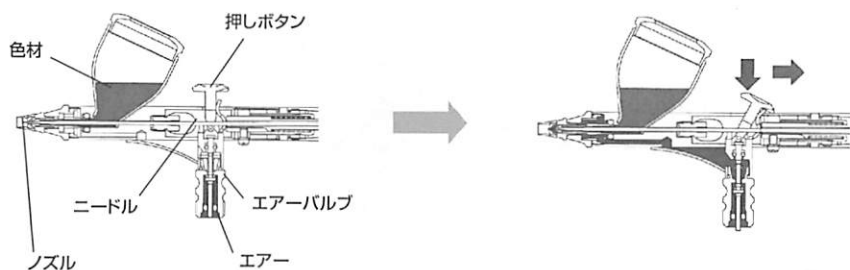
ホビー&クラフト

プラモデルやフィギュア・ルアーなど好きな小物にエアブラッシング
ボカシやグラデーションで筆とは違ったワンランク上の仕上がりになります。

◎エアブラシの各部名称



◎エアブラシの原理



コンプレッサで作られた圧縮空気はホースを伝わりエアブラシまで圧縮空気がきます。押しボタンを下に押すと、エアバルブが下に押され、エア回路が開き本体ボディに圧縮空気が流れます。

塗料をカップ入れ、エアブラシのボディ内を通って直径数ミリの細いノズル内に流れ込みます。押しボタンを後方に引くことにより、ノズルとニードル(細くとがった針のようなもの)に隙間ができ塗料が噴出されます。(通常はノズルとニードルが塗料をふさいでいる)このニードルとの隙間で塗料の噴出量を調整します。(押しボタンを引く量に応じて噴出量を調整します。)

※ニードルが適切な位置になかったり、曲がっていたりすると、またノズルが変形していたりすると、きれいな吹付けができません。

◎操作別



●シングルアクション

押すとエアと塗料が一緒に噴出するタイプ。操作が簡単で一定の量を吹き付けるときに便利です。



●ダブルアクション

押しボタンを下に押すとエアが出ます。押しながら(エアを出したまま)うしろにスライドすると塗料が噴出します。空気と塗料の操作が別々のため吹きながら塗料の量を変更できるなど、柔軟性があります。もっとも良く使用されるタイプ。



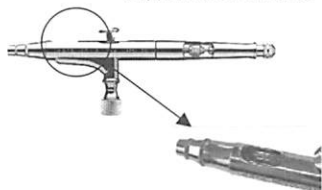
●トリガータイプ

構造(しくみ)はダブルアクションと同じ。少し引くと(一段吹き)エアーさらに引くと(二段吹き)、塗料が徐々に多くなります。トリガータイプで持ちやすく、スプレーガンに慣れている方におすすめ。

◎色材容器別

重力式 ……塗料を重力によって上から落ちる仕組み。

塗料を最後まで無駄なく使えます。吹き付けるワーク(被塗物)によって色材容器の量が異なります。



Aタイプ(容器用量 0.4ml)

ネイル・ルアーなど少量の塗料しか使用しない小さなワークの吹付けに。



Bタイプ(容器用量 1.5ml)

主にファインアート・ボディアート・メイクなどに使用されています。



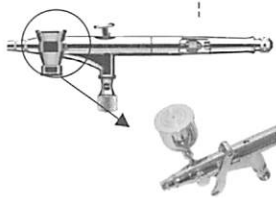
Cタイプ(容器用量 7.0ml)

アート・ホビー・カスタムペイントなどある程度の大きなワークに。昔から良く使用されている形。

吸上式 ……塗料を入れる容器が下についており、塗料を吸い上げる仕組み。



BCタイプ(容器用量 20・28・56・112ml)
ボトルタイプ。重力式タイプより大容量でボトルを変えるだけで、色替えが容易に出来ます。



SBタイプ(容器用量 1.5・7・15・28ml)
サイドボトルタイプ。左右にカップを取付可能で左利きの方におすすめ。上下にも角度が調節できます。構造の違いにより、重力式・吸上式があります。



CBタイプ(容器用量 15・30ml)
重力式で取外しが可能なタイプ。用途に合わせて容器カップを交換できます。

◎ノズル口径

エアブラシのノズル口径は0.2mm～0.5mmくらいが一般的に使用されています。塗装する物の大きさや使用する塗料の粘度にもよりますが、極細線から多少の広い面積を塗装するなら、ノズル口径0.3mmのエアブラシが一般的です。

細かい作業がメインの場合は0.2mm・やや大きい範囲を塗装する場合は0.5mmやそれ以上のものを選ぶと良いでしょう。ノズル口径が大きいくほど、つまりにくくなります。



エアブラシの中でもっとも重要なノズル！

ノズルは空洞になっていて、塗料とニードルが通ります。

小型の専用スパナで取付け・取外しが可能。

ノズル口径が小さいので、塗料が詰まりやすく、ニードルの出し入れなどにより破損の原因になりやすいので、丁寧に扱ってください。

破損すると、吹付けパタンの形状が悪くなったり、塗料が逆流してしまいます。

Variation



・こだわりのドロップインノズル

通常のノズル(左図)とは構造が異なり、はめ込み式になっている。

スパナを使用せず、ノズルモットセットはそのまま取付け・取外すことができる為、分解洗浄が容易。

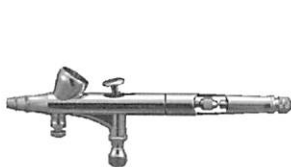
また、塗料噴出量が多くある程度の粘度塗料の対応が可能です。

(エクリプスシリーズのみ)

ドロップインノズルはノズルキャップ・ノズル・ニードルキャップを交換すれば口径の変更が可能

◎エアブラシの選び方

エアブラシの機種選定は基本的に吹付ける物の大きさ(使用する塗料の量)と作業性で選定するのが良いでしょう。



更に細かく

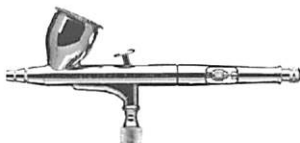
●小面積タイプ

ノズル口径Φ0.2mm

塗料カップ容量1.5ml

標準タイプよりノズル口径も塗料カップ容量も少なく、極細線や小さなワークの吹付けにおススメ！

用途例：ルアー・ネイルアートなど



◎標準タイプ

ノズル口径Φ0.3mm

塗料カップ容量 7ml

エアブラシといえばこのタイプ。ノズル口径0.3mmなら細線からグラデーションまで。オールマイティ！初めて買うならこのタイプ。

用途例：プラモデル・アート・模型など



更に広い範囲の塗装に

●広面積タイプ

ノズル口径Φ0.4～0.5mm

塗料カップ容量 20～40ml

標準タイプより更に広い面積を塗装する時に、ボルトタイプで色換えも容易。大きいワークのものにおススメ。

用途例：ホビー・バイクのヘルメットやカスタムペイントなど

◎コンプレッサとの組合せ

エアブラシは圧縮空気(エア)によって塗料を塗布します。エアブラシに使用するエアはスプレーガンに比べ少ない量で使用でき、小型のエアブラシ専用コンプレッサで吹きつけが可能です。

ノズル口径が大きいほど、エアの使用量が多くなります。持ち運びに便利なコンプレッサやハイパワーコンプレッサなど様々なコンプレッサがあります。コンプレッサの機種によって空気量が異なるため、ノズル口径によっては圧力不足になり圧力を保持できなくなり、きれいな仕上がりになりません。

使用用途やエアブラシのノズル口径など、相性のよいエアブラシとコンプレッサを選びましょう。

エアブラシ シリーズ名/形式		コンプレッサ形式							
		IS-50 (簡易タイプ)	IS-800J (持運びタイプ)	IS-850 (持運びタイプ)	IS-875 (静音タイプ)	IS-925 (静音+ハイパワー)	IS-875HT (タンク付)	IS-925HT (タンク付+ハイパワー)	IS-975MB (タンク付移動式)
ハイライン	HP-AH	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	HP-BH	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	HP-CH	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	HP-TH		○	○	○	◎	◎	◎	◎
ハイパフォーマンス プラス	HP-AP	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	HP-BP	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	HP-CP	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	HP-BC1P	△	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
ハイパフォーマンス	HP-BC2P	△	○	○	○	◎	◎	◎	◎
	HP-BE1		○	○	○	◎	◎	◎	◎
	HP-BE2		○	○	○	◎	◎	◎	◎
	HP-E1		○	○	○	◎	◎	◎	◎
エクリプス	HP-E2		○	○	○	◎	◎	◎	◎
	HP-BS		○	○	○	◎	◎	◎	◎
	HP-CS		○	○	○	◎	◎	◎	◎
	HP-SBS		○	○	○	◎	◎	◎	◎
レボリューション	HP-G6					○	○	◎	○
	HP-AR	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	HP-BR	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	HP-CR	△	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	HP-BCR	△	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	HP-SAR	△	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	HP-TR	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	HP-TRI	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
HP-TR2	△	○	○	○	◎	◎	◎	◎	

◎…最適 ○…適する △…0.1Mpaを保持、通常の吹付けが可能

※エクリプスシリーズは空気使用量が多いのでIS-50のコンプレッサでは圧力が下がってしまいお勧めできません。

※HP-G6エアブラシはIS-925HTのみ使用可能です。全開、丸吹きボタンでの吹付けで0.1Mpa保持できます。

◎便利アイテム

エアブラシを始めるにあたって必要な道具は、エアブラシ・エアホース・コンプレッサと塗料です。その他に作業環境を効率的にするアイテムもあります。作業用途に合ったエアブラシやアイテムを選びましょう。

エアブラシ周辺

●クイックジョイント(HPA-QJ)

エアブラシを簡単にエアホースから取外せます。



●ミニグリップフィルター(HPA-MGF)

エアブラシに直接接続するフィルタ。ホコリや水分を効率よく除去します。グリップ感も向上します。

ジョイント部分



●5連バルブジョイントHPA-VJ5)

レギュレータやコンプレッサに取付し、5本までホースを接続できるジョイント。バルブロック付で個別に空気調節が可能です。



●三叉ジョイント(AJ-1)

エアブラシを2本接続できるジョイント。安価タイプ

洗浄時アイテム

●エアブラシクリーニングポット(HPA-ACP)

洗浄時や不要な塗料を捨てる吹き用のポット。作業環境を整えます。



●エアブラシウォッシングブラシ丸筆(HPA-WB1)平筆(HPA-WB2)
ナイロン製で筆先がよれにくく、洗浄時に活用するウォッシングブラシ。

●エアブラシハンガ(HPA-H2)

塗料が入ったままでエアブラシを2本立てかけられます。レギュレータも取付可能です。



◎作業環境を整える

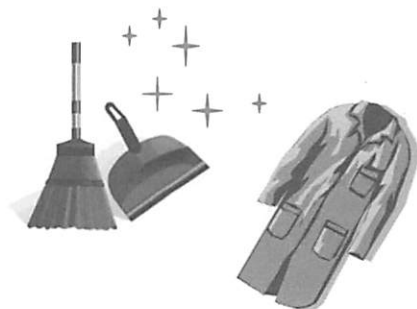
エアブラシを行う際は、ホコリは大敵！！

部屋や作業机をキレイにしましょう。ホコリや汚れがあると仕上がりに影響します。

また、吹付ける塗料の量にもよりますが、周りに飛散することがありますので、周囲に布をかぶせたり、新聞紙などを敷いて、汚れ防止をしましょう。

ダンボールで簡易ブースを作ったり、塗装ブースを使って、飛び散り防止することも効果的です。

服装は汚れてもよい作業着やエプロンなどがよいでしょう。



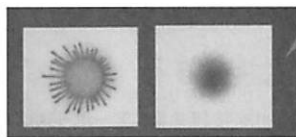
◎塗料について

エアブラシでは様々な種類の塗料を吹付けることが可能です。塗料を薄めるときは、専用の薄め液を使用しましょう。違う種類のを混ぜると、塗料が固まったり、変質することがあります。

薄め液の割合は、塗料によって異なります。塗料粘度の目安は水～牛乳程度の濃さにしましょう。筆で使用するより、薄くするとよいでしょう。

濃すぎると、周囲に飛び散っている粒子が粗くなり、薄すぎると液ダレしてしまいます。

右図のようになってしまった場合は、エア圧力や塗料の粘度（濃さ）をもう一度確認してください



薄い ← 粘度 → 濃い

◎塗料の種類

用途例	カスタムペイント	イラスト・ファインアート	サインペイント	ホビー			美容関係		
				プラモデル・模型	T-シャツ・染色	クラフト	ネイルアート	ボディアート	メイク
塗料の種類	ウレタン塗料	水彩絵具 ウレタン塗料	ポスターカラー	ラッカー系塗料	専用テキスタイルカラー (水性アクリル系)	ペンキ	専用水性アクリル	専用色材	専用ファンデーション
薄め液	ウレタン塗料 専用シンナー	水またはシンナー	水	ラッカーシンナー	薄めず使用できます		薄めず使用できます		
洗浄液	洗浄シンナー	水またはシンナー	水またはクレーナー	洗浄シンナー	水またはクレーナー		水またはクレーナー	アルコール	専用クリーナー

エアブラシで溶剤系塗料を使用する場合は、パッキンが耐溶剤性のパッキンであるか確認しましょう。

直射日光のあたらない、涼しい場所に保管してください。

使用後塗料が残った際は（少量の場合）新聞紙などに染込ませ乾燥させます。新聞紙は可燃ごみとして捨ててください。

使い終わった塗料容器は地域の廃棄支持に従ってください。

◎塗料を使用する際は . . .

吹付け作業をするときは、火気厳禁です！

シンナーや溶剤系塗料は引火性があり、を使用する場合は必ず避けたところで使用してください。火のそば、ストーブやファンフーターの前も危険です。

吹付け作業をするときは換気扇を使用したり、窓を開け、換気の良いところで使用してください。また長時間作業する場合は休み時間をとりましょう。

飛び散り防止、目や皮膚を守るため、保護具（メガネ・マスク・手袋）を着用してください。

